


有限会社五大				
業種	卸売・小売業	事業所所在地	岡山県津山市	資本金 3,800千円
				従業員数 4名

	被承継者（右）		
	後藤 俊介	69歳	※承継時
	承継者（左）		
	後藤 達弥	33歳	※承継時

事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2018年	10月	子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
当社は食肉卸売・小売、加工品製造販売業を営む。食肉は第1加工（一頭を人間が持てるサイズに加工する）、第2加工（さらに細かく加工）を経て市場に流通するが、当社は第1加工でカットされた枝肉、低価格帯で販売できる乳牛・経産牛を仕入れ、自社にて加工後、主に食肉販売業者へ卸している。		・新商品・新サービスの開発 これまでの当社の主力であった枝肉市場が縮小している中、利益確保のため一般消費者向けの新商品の開発及び販路開拓が急務となっている。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 10年前 群馬県にある食肉学校で勉学に励んでいた際に自分オリジナルのお店作り、商品作りを行いたいと思ったとき。	被承継者と承継者で話し合ったこと 枝肉市場が縮小しており新しい時代に変え新たなサービス、新たな商品作りを行うことを話し合った。	被承継者の承継に対する不安 変わりゆく時代をどう進むのか不安があるがこれまでの経験や各関係者からの信頼を積み重ねたと思うので承継を行った。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	創業30年を迎え新しい時代に備える話をし各所に年月をかけて信用を積み重ねた。	各関係者からの信頼を得たのか不安だった承継を行うことで新たな関係づくりをできると思う。



これに一番苦労した！


書類を作成することが多くまた責任能力向上のためのセミナーなど勉強することが多かった。

事業承継について相談したこと	
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	経営計画書作成に事業承継のためのセミナー、新商品開発セミナーなど幅広くサポートして頂いた。
いつから相談？	
承継実行の 5 年前	
相談のきっかけ	
以前から取引やつきあいあり	

新たな取組の標題

窒素ガスパック製品開発による商品拡充及び食品ロス低減

新たな取組の内容	新商品の開発又は生産
<ul style="list-style-type: none"> ●これまで主に取り扱っていた枝肉市場が、牛生産農家の減少による牛の生産量減少、さらにEPA、TPPの進展により安価な輸入牛の流入による競争激化、低価格化により精肉業者の廃業が相次いでいる。 ●食肉業界としては、持続的に成長するための新しいシステム、新しい肉文化を作り高付加価値化をはかっていく必要がある。また、家計や企業にとって大きな経済的な損失となる食品ロス対策が大きな課題となっている。 ●そこで、新たに肉の鮮度を保ったまま賞味期限を延ばす（3日から10日へ）ことができる精肉の窒素ガスパック製品の開発・販売を行い、他地域（県南や県外）への販路拡大、迅速に配送できる配送システムを構築し、賞味務期限切れに伴う食品廃棄ロスの低減を目指す。 ●そのため、肉の一時保存のために必要な大型冷凍冷蔵庫を導入し、窒素ガスパック製品の開発研究を進める。 	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
他地域より購入して下さるお客様が増えている中、他地域への販売ルートへ迅速に配送できる配送システムを構築することができ、販路を県南、県外まで拡大することが可能となる。さらに、売れ残りによる賞味期限切れに伴う食品廃棄ロスを低減することが可能となる。また、お土産にも対応でき、商品ラインアップの拡充・販路拡大が見込まれる。	設備費  経費の主な使い道 設備費 （大型冷凍冷蔵庫設備工事費）

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
承継する際に必要な書類や制度を理解するためセミナーに参加してもらったり実例案を教えて頂いた。事業計画書を作りサポートして頂いた。			

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	新商品・サービス拡充させ新商品（窒素ガスパック製品）の市場投入により食品に関わる事業者として食品ロス削減に取り組み、地域における先進事例として他の事業者の模範となり、良い影響を与えてゆきたいと考えている。
売上総利益 14 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
これからの世の中を希望に満ち溢れる会社作りをしてほしいと考えております。	新たな会社作りを行い、より一層充実したサービス、新たな商品開発を行っていきたく考えています。